

1 都市計画道路整備の現状と今後の展開

本市では、都市づくりの目標である「活力とにぎわいにより、中四国地方の発展をリードする都市」、「地域資源を生かした多様で個性的な魅力により、活発な交流が生まれ、平和への思いが共有される都市」、「誰もが快適に生き生きと住み続けることができ、幸福が増進される都市」を実現するための土台として、公共交通や主要な幹線道路で連携された「都心」と「拠点地区」に多様な都市機能を集約する都市構造（集約型都市構造）への転換を目指しています。

このため、その実現に向けて「都心」と「広域的な都市機能を担う拠点地区（4地区）」については、直轄国道、広島高速道路等の広域的な道路及び幹線道路の整備に取り組んできました。

また、「地域的な都市機能を担う拠点地区（8地区）」については、高陽地区及び横川地区の都市計画道路網は概ね完成し、可部地区は安佐市民病院へのアクセス道路、船越地区は東部地区連続立体交差事業の関連道路の整備等を推進しているところです。

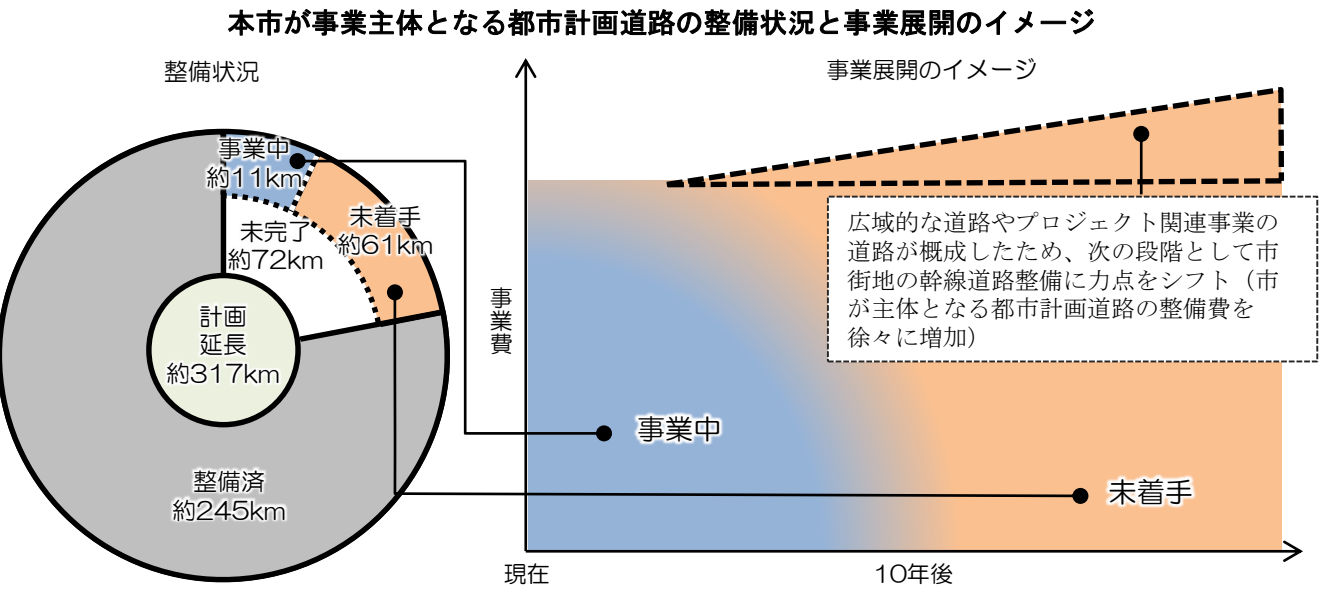
このように市全体としては、計画的な都市開発等と相まって、広島広域都市圏内のヒト・モノが循環する基盤となる都市計画道路の整備は概ね進んだと言えます。

今後は、「地域的な都市機能を担う拠点地区」のうち大町・古市地区周辺や西広島駅周辺地区、五日市地区などの都市計画道路の整備を着実に進めていきます。

このように地域ごとに行ってきている都市計画道路（本市が事業主体となるものに限る）の整備の全体状況を見てみると、令和3年度末時点で131路線、延長約317kmが計画決定され、約245km（約77%）の整備が完了しています。

未完了となっている都市計画道路約72kmのうち、約11kmについては既に事業着手していることから、早期の整備効果発現に向けて整備に取り組みます。

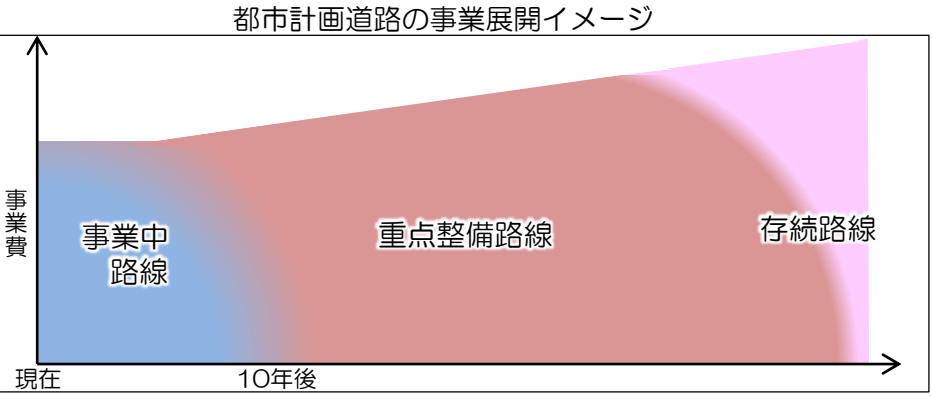
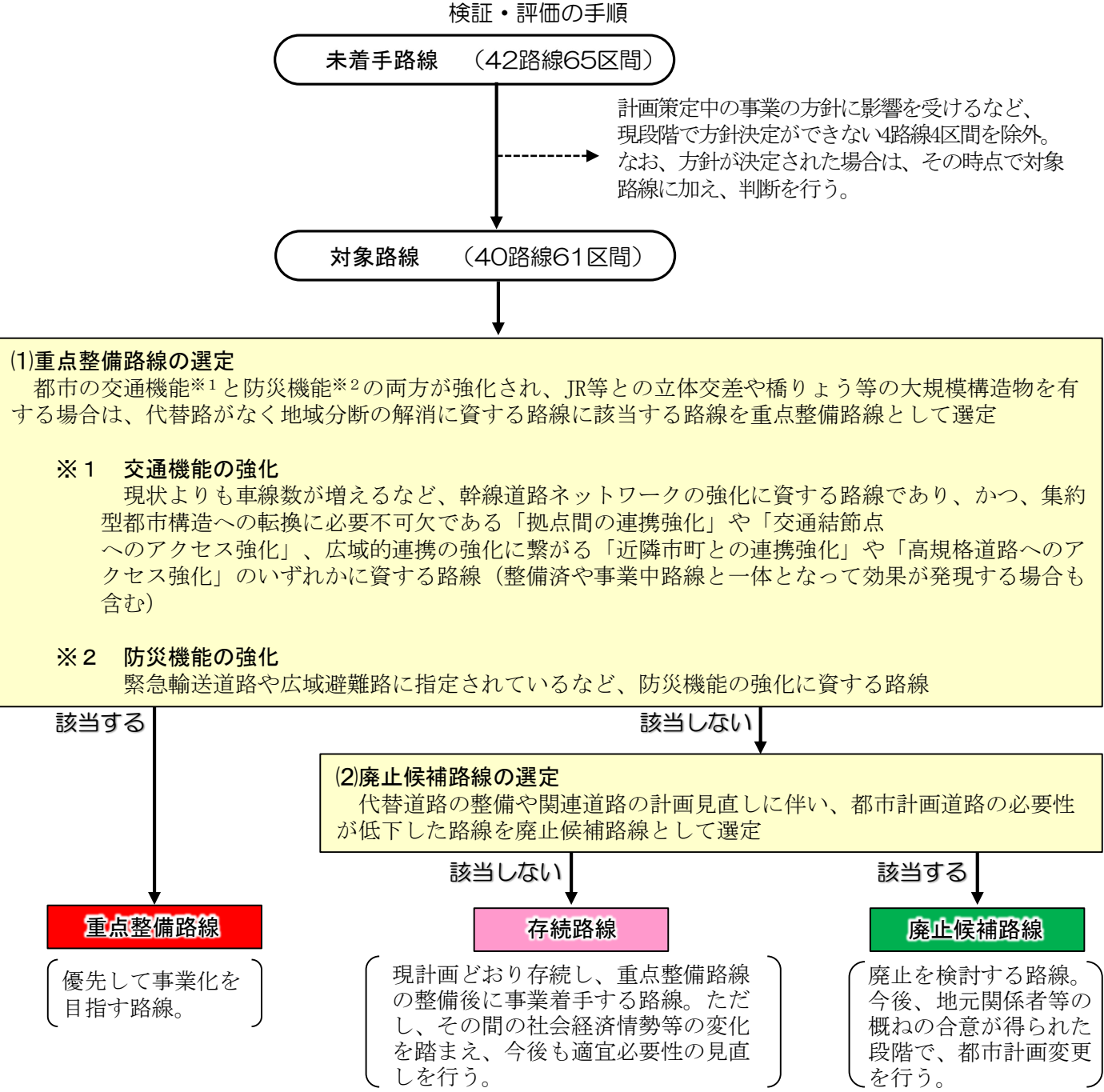
また、未着手である約61kmの路線については、拠点間の連携強化や交通結節点へのアクセス強化に資するか、近年激甚化・多発化している豪雨災害に対処する防災機能の向上が期待できるか等の観点から検証・評価を行い、優先して事業化を目指す路線を選定するなどして、順次着手していきます。



2 検証・評価の手順

未着手路線（42路線65区間）の中から、現段階で方針決定ができない路線・区間を除く40路線61区間を対象路線とし、まず、優先して事業化を目指す「重点整備路線」を選定します。

次に、「重点整備路線」に該当しない路線について、廃止を検討する「廃止候補路線」と現計画どおり存続する「存続路線」に分類します。



項目	路線名			
重点整備路線 (12路線14区間)	⑥畑口寺田線(a)	⑧寿老地中地線(a)	⑪末新開佐方線(b)	⑬海老寿老地線(a)
	⑰駅前観音線(a)	⑳駅前大州線(b)	㉔中山中央線(a,b)	㉔己斐中央線(a)
	⑳長束八木線(b,c)	㉔西原山本線(d)	㉔長束線(a)	㉔高陽可部線(a)
	※㉔長束八木線(b)及び㉔長束線(a)については、令和4年4月公表の「祇園・西原・山本地区の渋滞対策」における計画見直しの方針に沿ったルート案に基づき選定しています。			
存続路線 (32路線45区間)	①横川八木線(a)	②中筋温品線(a)	③天満矢賀線(a)	④山の手線(a)
	⑤青崎草津線(a,b)	⑥畑口寺田線(b)	⑦広島宮島線(a,b)	⑨吉見倉重線(a,b)
	⑩吉見穴の口線(a,b)	⑪末新開佐方線(a)	⑫保井田中地線(a)	⑭比治山庚午線(a,b,c,d)
	⑮駅前吉島線(a)	⑯横川江波線(a)	⑯霞庚午線(a)	⑰松川宇品線(a,b)
	㉔駅前大州線(a)	㉔比治山蟹屋線(a)	㉔常盤橋大芝線(a)	㉔己斐石内線(a)
	㉔矢賀大州線(a)	㉔海田青崎線(a)	㉔船越中央線(a,b)	㉔中野瀬野線(a)
	㉔温品馬木線(a)	㉔川の内線(a,b,c)	㉔長束西原線(a)	㉔西原山本線(a,b,c)
	㉔東野北下安線(a)	㉔温井松原線(a)	㉔可部浜田線(a)	㉔藤ノ森大毛寺線(a)
廃止候補路線 (2路線2区間)	⑰駅前観音線(b)	㉔長束八木線(a)		

凡 例

重点整備路線

存続路線

廃止候補路線

事業中路線

整備済の路線等

